COP31 Japan Pavilion Seminar

イノベーションから実装へ：
循環型の農業食料システムに向けた気候変動対策の拡大

開催日
11.14
（土）

10:00-11:15（現地時間, UTC+3）
16:00-17:15（日本時間, UTC+9）

ジャパンパビリオン会場（トルコ、アンタルヤ）

https://us06web.zoom.us/j/82146797706?pwd=bsMuFCxrMWVeOd1M1jBwDgoRRSKZM4.1

本セッションでは、マレーシア、インド、フィリピンにおける国際共同研究による気候変動の緩和と適応を同時に実現する気候ソリューションを開発し、現場での普及、民間投資、政策形成へと結びつけている事例を紹介する。パームバイオマスの循環利用技術、BNI強化コムギ、深植えサトウキビ栽培技術を取り上げ、食料安全保障の強化、生産性の向上、温室効果ガス（GHG）排出削減及びサーキュラーエコノミーの推進への貢献について取り上げるとともに、研究者、農業者、政府及び民間企業の協働が、アジアにおける気候変動対策の加速と持続可能な農業開発の推進に果たす役割について議論する。

冒頭挨拶



佐藤　紳
農林水産省
農林水産技術会議事務局長

講演者・パネルディスカッション



林　慶一
国際農研 資源・環境プログラム
プログラムディレクター



小杉　昭彦
国際農研 生物資源・利用領域
プロジェクトリーダー



吉橋　忠
国際農研 生物資源・利用領域
プロジェクトリーダー



安西　俊彦
国際農研 農村開発領域プロジェクトリーダー

More Information

COP31ジャパンパビリオンウェブサイト

セミナーへはこちらからでも参加いただけます